

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大門小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	全体的には、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図れた。しかし、個人差が大きいことから個別に必要な支援を講じていく必要がある。「ドリルパーク」等、個別に蓄積されたデータを効果的に活かしていきたい
思考・判断・表現	根拠となる部分を引用して自分の考えを具体的に書くことに課題がみられたため、各教科の授業で、根拠資料を基に、自己の考えをまとめる活動を共有していきたい。
主体的に学習に取り組む態度	高学年においては、教科担任制の良い所を指導の改善をさらに深めるとともに、全校児童に児童用タブレット端末の日常的な使用により、学習の個別最適化に取り組ませていきたい。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	自校の国語、算数のワークテストの「知識・技能」において、各学年の正答率の平均が80%を超えるようにする。	⇒ ①週1回、朝、昼に「国語はかせタイム」「算数はかせタイム」の時間を設定し、既習の学習において自分の課題に合った学習内容を計画的に進める。 ②教育のデジタルトランスフォーメーション((ミライシード・スタディサブリ)の活用等)を実現する。
思考・判断・表現	自校の国語、算数のワークテストの「思考・判断・表現」において、各学年の正答率の平均が80%を超えるようにする。	⇒ ①暗唱検定、視写活動の学習を通して正しく美しい日本語に接し、それを活用させる。 ②学びのポイント「じ・し・ゃく」に取り組み、思考・判断・表現を向上させる。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年のさいたま市学習状況調査において、学習に対する「関心・意欲・態度」の質問に肯定的な回答が80%以上になるようにする。	⇒ ①高学年では教科担任制実施により深い教材研究を実施する。低・中学年は自ら目標を設定し深い教材研究を行う。 ②授業において、課題、見通し、自力解決、繰り返し等の活動の中で、個人の方で取り組む場面を教師が意識的、組織的、計画的に設定し、児童の取組を評価していく。 ③児童用タブレット端末の日常的な使用により、学習の個別最適化に取り組む。

全国学力・学習状況調査
＜小6・中3＞(4月～5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	自校の国語、算数のワークテストの「知識・技能」において、各学年の正答率の平均が80%を超えることができた。	A
思考・判断・表現	自校の国語、算数のワークテストの「知識・技能」において、各学年の正答率の平均が80%を超えることができた。	A
主体的に学習に取り組む態度	令和5年のさいたま市学習状況調査において、学習に対する「関心・意欲・態度」の質問に肯定的な回答が80%を超えることができた。	A

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語-2pt、数学+1ptであった。国語の文章を読み理解したことに基いて、自分の考えをまとめ書くことができる問題の解答類型を見ると、読み取る二つの条件を満たさずに自分の考えをまとめている児童が多かった。
思考・判断・表現	算数の「図形」領域において課題がみられた。台形の意味や性質について理解しているかどうかを問う問題では、台形の定理をきちんと理解していない児童が多いので、各学年で学ぶ図形の定理は、丁寧に説明して行く必要がある。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」の質問項目の、肯定的な回答の割合は76%であった。より一層、子ども主体の学びとなるような手立てを考えたり授業改善に努めたりしていく。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3	「知識・技能」において、令和5年さいたま市学習状況調査より、国語は、若干下がり、算数は、+1ptであった。「思考・判断・表現」において、国語は、若干上がり、算数は、若干下がった。国語では、言葉の使い方や使い方に関する事項の内容の正答率が低かった。「※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考値扱いとなります。」	小4	「知識・技能」において、令和5年さいたま市学習状況調査より、国語、算数とも下がった。「思考・判断・表現」において、国語、算数とも若干下がった。国語では、書くこと事項の内容について正答率が平均に近かった。「※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考値扱いとなります。」
小5	「知識・技能」において、令和5年さいたま市学習状況調査より国語、算数ともに、若干下がった。「思考・判断・表現」において、国語は、+2pt上がり、算数は、下がった。算数では、変化と領域の事項内容の正答率が低かった。「※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考値扱いとなります。」	小6	「知識・技能」「思考・判断・表現」において、令和5年さいたま市学習状況調査より国語、算数ともに、若干下がった。算数では、図形の領域の事項内容の正答率が高いものもあった。「※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考値扱いとなります。」

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし